

建築とは、人びとの営みと時間を受け止める「場」であり、照明はそこに寄り添い、空間の質や記憶を静かに浮かび上がらせる“見えない素材”である。建築と照明は、それぞれが異なる手法と視点から空間と対峙しながらも、共に人間の感覚と情動に働きかけるものである。

クロード・エンゲルは語る。「建築設計者のための素材は、スチールやコンクリートやガラスだけではなく、光を大切な建築素材のひとつとして捉えなさい」と。その思想を受け継ぎ、「光は素材である」と語る照明デザイナー・面出薫は、建築空間のなかで“光そのもの”の存在を問うてきた。照明器具が主役ではなく、建築とそこに生きる人びとこそが輝くべきものであるという考えのもと、光を通じて建築の輪郭と気配を際立たせてきた。

建築家と照明デザイナーのダイアログ

建築家

田根 剛

照明デザイナー

面出 薫



弘前れんが倉庫美術館は、パリを拠点に活動する建築家・田根剛が日本で初めて手がけた美術館建築である。かつて酒造工場として用いられた大正期の赤煉瓦建築を改修し、土地に刻まれた歴史や記憶を引き継ぎながら、新たな文化の「場」として再構築した。敷地の風景や物語を読み取り、それを建築に変換する田根の手法は、代表作であるエストニア国立博物館にも通底する。建築とは、単なる形や機能を超えた「記憶の器」とあるという思想が、弘前のプロジェクトにも明確に表れている。

照明デザイナー・面出薫は、光そのものを建築素材ととらえ、陰影や自然光の表情を通じて空間の奥行きと意味を立ち上げてきた。本対話では、田根が構築した空間の内部に身を置き、面出の光の哲学と交差させながら、建築と光の関係をあらためて見つめ直す試みとなる。

建築に込められた記憶と思想、そして光が導く新たな解釈。その重なりの中から、空間が持つ意味の深度が静かに立ち上がる、思索的なダイアログである。

弘前譚 8・24 Sunday

14:00~

(開場 13:30)

● 場所：弘前れんが倉庫美術館
スタジオ B

● 参加費：[大人] 3,000 円 (税込)

※ 中学生・高校生無料

※ 面出薫著『建築照明の作法 (TOTO 建築叢書) プレゼント』



田根 剛 Tsuyoshi Tane

建築家

ATTA - Atelier Tsuyoshi Tane Architects 代表



Web Site

1979 年東京生まれ。ATTA-Atelier Tsuyoshi Tane Architects を設立、2006 年より、フランス・パリを拠点に活動。場所の記憶から建築をつくる「Archaeology of the Future」をコンセプトに、現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行中。

主な作品に『エストニア国立博物館』（2016 年）、『弘前れんが倉庫美術館』（2020 年）、『アルサーニ・コレクション財団・美術館』（2021 年）、『ヴィトラ・ガーデンハウス』（2023 年）、『帝国ホテル 東京・新本館』（2036 年完成予定）など。

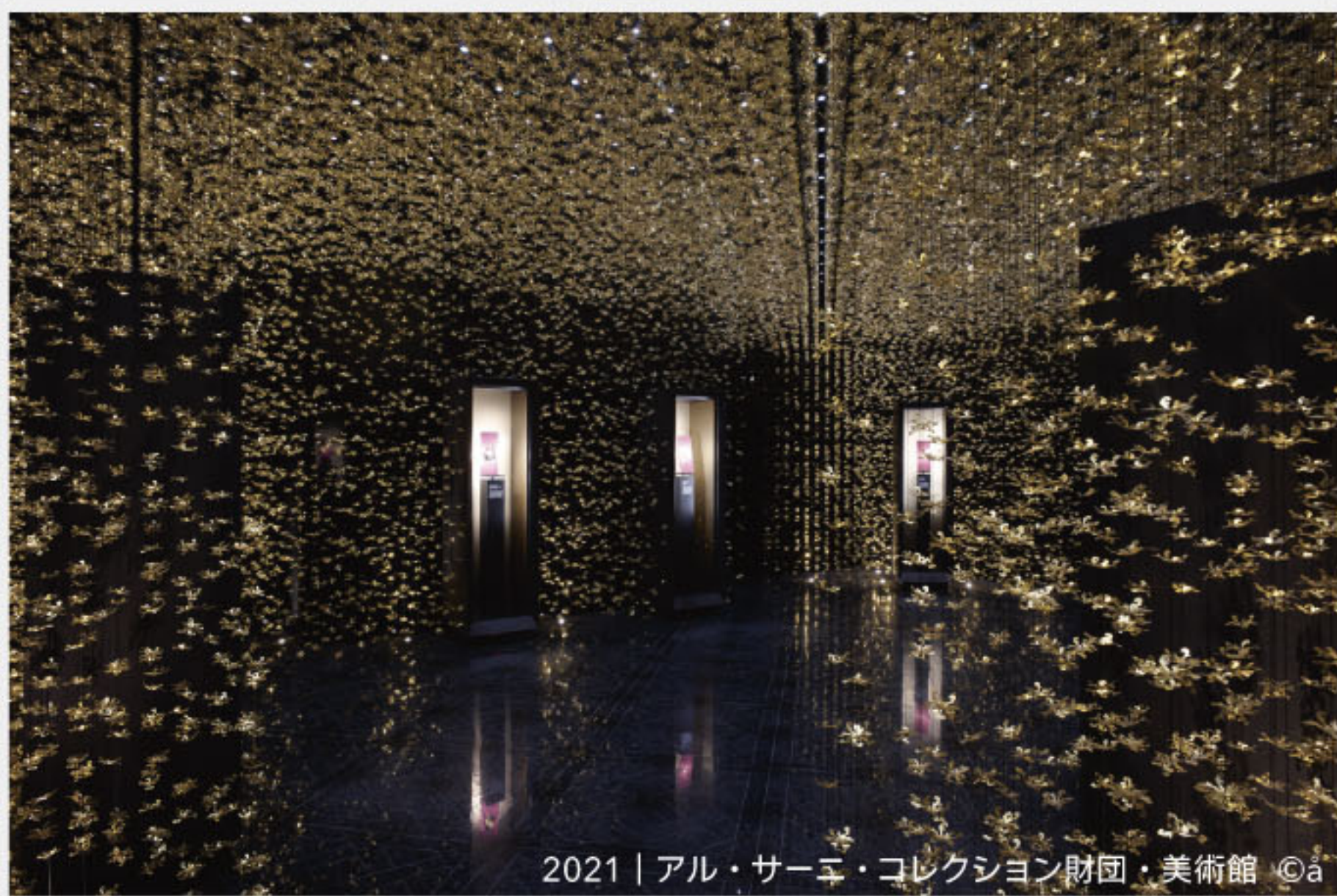
主な受賞に、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、フランス建築アカデミー新人賞、エストニア文化基金賞グランプリ、第 67 回芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数受賞。著書に『TSUYOSHI TANE Archaeology of the Future』（TOTO 出版）。



2016 | エストニア国立博物館 ©Propapanda / image courtesy of DGT.



388FARM ©Atelier Tsuyoshi Tane Architects



2021 | アル・サーニ・コレクション財団・美術館 ©a



2020 | 弘前れんが倉庫美術館 ©Daici Ano



2036 年竣工予定 | 帝国ホテル 東京 新本館 ©Atelier Tsuyoshi Tane Architects



2023 | Vitra - Tane Garden House ©Julien Lanoo / Courtesy of ATTA and Vitra



面出 薫 Kaoru Mende

照明デザイナー

ライティング プランナーズ アソシエーツ 代表



Web Site



照明探偵団

美術大学で環境デザインを学んだ後に、照明メーカーの研究所に12年間勤務する。そこで日本を代表する建築家たちとのコラボレーションを通じて建築照明デザインの礎を築き、1990年にLPAを設立。同時に非営利の照明文化研究会“照明探偵団”を組織し、照明を文化として捉えて啓蒙活動を継続的に展開する。

現在は住宅照明から建築照明、環境照明、都市照明まで幅広い照明デザインのプロデューサー、プランナーとして世界中で活動する。

東京国際フォーラム、JR京都駅、せんだいメディアテーク、六本木ヒルズ、長崎原爆死没者追悼平和祈念館、京都迎賓館、シンガポール国立博物館、シンガポール中心市街地照明マスタープラン、ガーデンズ バイザ ベイ、JR東京駅丸の内駅舎保存復原ライトアップ、アマン東京、ぎふメディアコスモスなどの照明計画を担当。

国際照明デザイナー協会最優秀賞、北米照明学会照明デザイン大賞、日本照明学会・日本照明賞、日本文化デザイン賞、毎日デザイン賞などを受賞。日本建築学会(AIJ)、日本照明学会(IEIJ)、国際照明デザイナー協会(IALD)、日本デザインコミッティー(JDC)などの会員。現在、武蔵野美術大学客員教授。

著書に『都市と建築の照明デザイン』六耀社、『世界照明探偵団』鹿島出版会、『陰影のデザイン』六耀社、『光のゼミナール』鹿島出版会、『建築照明の作法』TOTO 出版、『LPA 1990-2015 建築照明デザインの潮流』六耀社など多数。



1996 | 東京国際フォーラム Photo by Toshio Kaneko



2003 | JR 京都駅 © 三菱電機照明



2012 | ガーデنز バイザ ベイ Photo by Toshio Kaneko



2003 | 長崎原爆死没者追悼平和祈念館 Photo by Toshio Kaneko



2000 | せんだいメディアテーク ©LPA



2014 | アマン東京 Photo by Toshio Kaneko



2015 | みんなの森 ぎふメディアコスモス ©LPA



2012 | JR 東京駅丸の内駅舎 ©LPA

〈主催・お問合せ〉一般社団法人TOCOL <https://www.tocol.net/> E-mail donna@tocol.net
 〈後援〉青森県／弘前市／弘前大学／弘前れんが倉庫美術館／デーリー東北新聞社／東奥日報社／
 公益社団法人 日本建築家協会 東北支部／公益社団法人 日本建築家協会 青森地域会
 一般社団法人 青森県建築士会
 〈協賛〉株式会社トイ 愛瀾詩塾（えみしじゅく）
 〈協力〉照明探偵団 <https://shomei-tanteidan.org/>

PROGRAM

- ① 対談１部：田根剛 × 面出薫（４０分）
- ② 古伝尺八演奏：琴古流大師範 寄田真見乃（１０分）
- ③ 対談２部：田根剛 × 面出薫（２５分）
- ④ 質問タイム（１５分）



事前申し込み

同時開催

8 キッズライト・オデッセイ

August

「キッズライト・オデッセイ」は、光をテーマに子どもたちが地域の自然や文化にふれ、創造的に学ぶ体験型プログラム。照明デザイナー・面出薫と「照明探偵団」の協力のもと、金魚ねぶたづくりや街歩きを通じて、光のもつ美しさや役割を体感する。光と地域をつなぐこの活動は、子どもたちの感性を育むとともに、高校生・大学生のユースリーダーとの協働を通じて、世代を超えた学びと地域への愛着を育てていく。

9(土) 15:30 (受付 15:00)
種差海岸 **金魚ねぶた絵付け体験** **18:00** **金魚ねぶた提灯行列** **18:45** **月の道 観望体験** **20:30**
 お楽しみイベント (南浜公民館) (種差海岸：館ノ下砂浜) (嶋大明神前海岸 → 南浜公民館)

21(木) 15:15 (受付 14:45)
南部町 **金魚ねぶた絵付け体験** **16:45** **青森の旬をぎゅっと詰めた** **18:00** **照明探偵団** **20:00**
 (南部町ふれあい交流プラザ) 親子のバランス弁当教室 (なぎさなおこ先生) 世界の照明デザイナーと街歩き (三戸駅周辺 → ふれあい交流プラザ)

22(金) 15:30 (受付 15:00)
八戸市 **金魚ねぶた絵付け体験** **17:00** **伝統工芸にひそむ** **18:15** **照明探偵団** **20:15**
 (はっち：シアター 1) ポケモンのひみつ (八戸市美術館) 世界の照明デザイナーと街歩き (美術館 → おがみ神社大樹 → はっち)
 ※大人の観覧料は別途必要(1,100円)

23(土) 15:30 (受付 15:00)
弘前市 **金魚ねぶた絵付け体験** **17:00** **弘前の文化遺産と出会う** **19:00** **照明探偵団** **20:45**
 (弘前市民会館：大会議室) レトロ建築バスツアー (弘前市内バスツアー) 世界の照明デザイナーと街歩き (弘前中央駅 → 土手町 → 弘前駅) (バス)